

② 模試データの活用について

模擬試験の結果が返ってきましたね。成績はいかがでしたか？

模試の結果が返ってくると、まず気になるのはA～Eの判定でしょうね。現段階での合格可能性を示したもので、下のような指標です。

当然のことながら、合格者が多いのはA、B判定であるが、C、D判定でも、少なくとも5人中2人は合格者がいる。言い換えれば、A、B判定が合格を保証するものでは決していない。

では、なぜC、D判定でも合格するのでしょうか。それは現役生の“**追い込みの強さ**”によるところが大きいのです。現役生は、春からの学習がようやく実を結び始め、秋から冬にかけてぐっと成績が伸びるのです。すべての模試が終了してからも、現役生は蓄えてきた力により伸び続けます。

模試の判定は真摯に受け止めなければなりません、一喜一憂することなく、コツコツと力をつけていくことが大切です。自分を信じ、努力しよう。努力は人を裏切らない！

	ベネッセ	河合塾
A	80%以上	80%以上
B	80～60%	80～50%
C	60～40%	50～40%
D	40～20%	40～20%
E	20%以下	20%以下



模試は、受験後の復習がとても大切です。模試受験後答え合わせをかねて、1回目、個人成績表が届いたら2回目。ただ合格する人は2回目に復習したことを忘れたさらに1カ月後くらいに3回目を行っています。

判定よりも大切なことは、まずはBラインまでの点数差です。その差をうめるために、戦略をたてて毎日復習します。

模試の判定や点数が大切なのではなく、大切なのは、自分自身の現状把握、そして計画的な対策と実行です。

得意科目をつくること、苦手を戦略的に克服することです。そうやって克服した者だけが合格します。一人ひとり戦略を練って、本気で実行して下さい。